

# 図書館だより

# 第4号

令和3年9月7日 相馬高校図書館

今月の新刊本には、図書委員が選書実習で直接店頭から購入してきた本も多数入っています。図書委員手製のPOP付きで紹介もしていますので、ぜひ手に取ってみてください。

## 今月のおもな新刊本

分類番号	タイトル	著者
141Y	ひとはなぜ「認められたい」のか 承認不安を生きる知恵	山竹 伸二
180A	気になる仏教語辞典	麻田 弘潤
289H	ネルソン・マンデラ 分断を超える現実主義者	堀内 隆行
312B	女たちのポリティクス 台頭する世界の女性政治家たち	ブレイディみかこ
332H	食べものから学ぶ世界史	平賀 緑
361T	異文化コミュニケーション	鳥飼 玖美子
366N156	アプリケーションエンジニアになるには	小杉 眞紀
367H	Z世代 若者はなぜインスタ・TikTokにハマるのか?	原田 曜平
467I	はずれ者が進化をつくる	稲垣 栄洋
517K	生きのびるための流域思考	岸 由二
726B21	Dr.STONE21	稲垣 理一郎, Boichi
726Y10	ブルーピリオド 10	山口 つばさ
807B	デジタルで変わる子どもたち	バトラー後藤裕子
911N	夏井いつきの世界一わかりやすい俳句の授業	夏井 いつき
913A	わたしの幸せな結婚	顎木 あくみ
913A	ギルドレ 1	朝霧 カフカ
913B	服の魔法をあなたに。	紅原 香
913K	神獣の都 京都四神異譚	小林 泰三
913M	いのちの停車場	南 杏子
913M	余命 3000 文字	村崎 羯諦
913N	美少年探偵団 美少年シリーズ 1~4	西尾 維新
913S	鬼恋綺譚 流浪の鬼と宿命の姫	沙川 りさ
913S	わたしは告白ができない。	櫻 いいよ
913S	後宮の鳥	白川 紺子
913S	あと少し、もう少し	瀬尾 まいこ
913T	琥珀の夏	辻村 深月
913U	七つの魔剣が支配する	宇野 朴人

**SDGsのコーナーもできました。こちらもどうぞご利用下さい。**

# 特集：文豪と現代作家

図書委員 2-4 但野美沙希

『山月記』で有名な中島敦を主人公とした、文豪たちによる異能力バトルアクションが繰り広げられる物語—『文豪ストレイドッグス』。通称、文スト。主な登場人物としては、太宰治、芥川龍之介、江戸川乱歩から泉鏡花に森鷗外など。個性豊かな文豪たちが魔都・横浜で織り成す怪奇譚は、長年に亙り私たちに喜怒哀楽を与え続けています。

そして近年、そんな文ストに、辻村深月や綾辻行人などの現役作家が登場しました。湧き上がった方も多かったのではないのでしょうか。そこで、ほんの一部ではありますが文ストに登場する文豪と現代作家を紹介していきたいと思います。

どの本も図書室にありますので、ぜひご一読を！！

## 太宰 治 1909年6月19日誕生

### 〈作品の魅力〉

多くの読者を「太宰をわかってあげられるのは自分だけだ」と錯覚させ、自己陶醉させてしまうところ。特に太宰自身の体験が強く見られる小説は、この傾向が強いと思われます。少し危うい気もしますが、そう錯覚した方がより作品を楽しめるでしょう。

### 〈文スト内でのキャラ〉

○能力名「人間失格」(異能を無効化できる)  
○川に飛び込みたがったり、生きようとする意志が弱いのが特徴。外見は細身で、顔立ちや話し方はどこことなく女性的。

### 〈おすすめの作品〉

#### \* 人間失格

太宰の死後に発表された小説で、言ってしまえば自伝のようなものだと私は思っています。数ある作品の中でも特に太宰の魅力を堪能できるでしょう。

#### \* 斜陽

太宰が心中する前年に刊行した小説です。主人公は女性で、元貴族の一家が没落する最期を描いています。家族構成は母、主人公、弟。三人三様の「貴族」という境遇に対する意識の移り変わりが見どころです。

(斜陽とは陽の落ちる頃に射す夕日という意味であり、没落する貴族を喩えている)

## 辻村 深月 1980年2月29日誕生

### 〈作品の魅力〉

人間関係がリアルに緻密に描かれているところ。特に、女の子特有の複雑で気まずい関係の描き方は見事です。また、一つの物事を様々な視点から描き、同じ物事でも見る立場が違えば全く違って見え、その一つ一つに感情移入してしまい、読み手の感情も目まぐるしく変えていくところ。思わず一気に読みしてしまうような作品が多くあります。

### 〈文スト内でのキャラ〉

○能力名「きのうの影踏み」  
(本人の影に潜む異能生命体)  
○自意識が高めで少し騙されやすく、よく好きな名言を心の中で唱えては自己陶醉に浸ることも。しかし高い身体能力と吸収力を持ち、とある目標を抱えている。

### 〈おすすめの作品〉

#### \* かがみの孤城(本屋大賞受賞作)

学校に居場所がなくなってしまった中学生の女の子。光りだした自室の鏡をくぐり抜けると、城のような不思議な建物の中において——。

一気に読み必至、感涙必至の傑作です。

#### \* 琥珀の夏

弁護士として働いている主人公・法子は、「ミライの学校」で子供の白骨死体が発見されたというニュースを見る。それをきっかけに、小学生の時に参加した「ミライの学校」の夏合宿の記憶を思い出し——。

念入りに練られた文章も楽しめる、新たな代表作です。